

厚生労働大臣の定める掲示事項

(2026年6月1日現在)

- I 入院基本料について
 当院では、(日勤、夜勤あわせて)一般病棟において、入院患者7人に対して1人以上の看護職員を、入院患者25人に対して1人以上の看護補助者を配置しております。
 また、精神病棟においては、入院患者13人に対して1人以上の看護職員を、入院患者50人に対して1人以上の看護補助者を配置しております。
- II 入院診療計画、院内感染防止対策、医療安全管理体制について
 当院では、入院の際に医師を始めとする関係職員が共同して、患者さんに関する診療計画を策定し、7日以内に文書によりお渡ししております。また厚生労働大臣が定める院内感染防止対策、医療安全管理体制の基準を満たしております。
- III DPC対象病院について
 当院は入院医療費の算定にあたり、包括評価と出来高評価を組み合わせる“DPC対象病院”となっております。
 ※医療機関別係数1.7566(基礎係数1.1245+機能評価係数I0.5435+機能評価係数II0.0805+救急補正係数0.0081)
- IV 明細書発行体制について
 医療の透明化や患者さんへの情報提供を推進していく観点から、領収書の発行の際に、個別の診療報酬の算定項目の分かる明細書を無料で発行しております。また、公費負担医療の受給者で医療費自己負担のない方についても明細書を無料で発行しております。
 明細書には、使用した薬剤や行われた検査の名称が記載されます。その点ご理解いただき、ご家族の方が代理で会計を行う場合、その代理の方への発行を含めて、明細書の発行を希望されない方は、会計窓口にてその旨お申し出ください。
- V 保険外負担に関する事項
 当院では、個室使用料などにつきまして、その利用日数に応じた実費のご負担をお願いしております。

1) 特別療養環境の提供

病棟	区分	使用料 (税込・1日)	病床数	病床内訳	主な設備/備品
1号館 12階	特別室S (1人室)	49,500円	2		ダイニングルーム、バス・シャワールーム、洗面所、トイレ、ドレッサー、クローゼット、 応接ソファセット、47型液晶テレビ、DVD・ブルーレイプレーヤー、簡易キッチン、冷蔵庫、電子レンジ
	特別室A (1人室)	31,900円	9		バス・シャワールーム、洗面所、トイレ、ドレッサー、クローゼット、 応接ソファセット、40型液晶テレビ、DVD・ブルーレイプレーヤー、簡易キッチン、冷蔵庫、電子レンジ
	特別室B (1人室)	28,600円	11		シャワールーム、洗面台、トイレ、クローゼット、ソファセット、液晶テレビ、 DVD・ブルーレイプレーヤー、簡易キッチン、冷蔵庫、電子レンジ
	特別室C (1人室)	26,400円	6		シャワールーム、洗面台、トイレ、クローゼット、 ソファ、液晶テレビ、DVD・ブルーレイプレーヤー、冷蔵庫、電子レンジ
1号館	特別室D (1人室)	19,800円	20	7階4室、8階4室、9階4室、 10階4室、11階2室、13階2室	シャワー室、トイレ、ロッカー、ソファ、テレビ、電話、冷蔵庫、電子レンジ
	1人室	12,100円	78	6階7室、7階10室、8階10室、9階9室、 10階13室、11階23室、13階6室	洗面台、ロッカー、ソファ、テレビ、電話、冷蔵庫
	個室の4人室	4,400円	88	6階2室、7階2室、8階8室、9階9室、 10階4室、11階2室、13階2室	テレビ、冷蔵庫、仕切り家具一体型ロッカー
10号館	2人室	3,850円	10	7階4室、9階1室	ロッカー、テレビ
	1人室	18,700円	56	4階10室、5階7室、6階9室、 7階10室、9階10室、9階10室	シャワー室、トイレ、洗面台、ロッカー、ソファ、テレビ、電話、冷蔵庫
	4人室	2,200円	100	4階6室、6階6室、7階2室、8階5室、9階6室	洗面台、トイレ(前室)、ロッカー、テレビ
8号館	1人室	6,600円	5		トイレ、ロッカー

2) 初診・再診に係る費用の徴収

他の保険医療機関等からの紹介がなく、当院に直接来院した場合については、選定療養費として初診時は11,000円(税込)、再診時は3,300円(税込)をお支払いいただく必要があります(医科歯科共通)。ただし、緊急その他やむを得ない事情により来院した場合はこの限りではありません。また時間外の受診につきましても、医師が緊急性を認めないと判断した場合には、上記とは別に時間外選定療養費として8,800円(税込)をお支払いいただく必要があります。

3) 入院期間が180日を超える場合の費用の徴収

同じ症状による通算のご入院が180日を超えますと、患者さんの状態によっては健康保険からの入院基本料15%が病院に支払われなくなる場合がございます。この場合、180日を超えた日からの入院が選定療養対象となり、この部分に相当する額が特定療養費として患者さんの負担となります。

4) 先進医療について

当院は、厚生労働大臣の定める施設基準に適合する病院として以下の先進医療を実施しています。

名称	適応症	診療科	料金
術後のアスピリン経口投与療法	下部直腸を除く大腸がん(ステージがⅢ期であって、肉眼による観察及び病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)	下部消化管外科	0円 (薬剤費7,294円は無償提供)
子宮内膜刺激術	着床障害	産科婦人科	14,810円
タイムラプス撮像法による受精卵・胚培養	不妊症	産科婦人科	32,000円
アスピリン経口投与療法 家族性大腸腺腫症	家族性大腸腺腫症	消化管内科	0円 (薬剤費4,160円は無償提供)
子宮内膜受容能検査1	不妊症	産科婦人科	103,050円
子宮内細菌叢検査1	慢性子宮内膜炎疑い	産科婦人科	56,850円
術前のゲムシタピン静脈内投与及び ナブパクリタキセル静脈内投与の併用療法	切除が可能な膵臓がん (七十歳以上八十歳未満の患者に係るものに限る。)	肝胆膵外科	2,400円 (薬剤費578,532円は無償提供)
ヒアルロン酸を用いた生理学的精子選択術	不妊症	産科婦人科	10,190円
抗ネオセルフβ2グリコプロテインI複合体抗体検査	不育症	産科婦人科	36,000円
子宮内細菌叢検査2	不妊症(卵管性不妊、男性不妊、機能的な不妊又は一般不妊治療が無効であるものであって、これまで反復して着床又は妊娠に至っていない患者に係るものに限る。)、慢性子宮内膜炎が疑われるもの、難治性細菌性膣症	産科婦人科	40,950円
膜構造を用いた生理学的精子選択術	不妊症(卵管性不妊、男性不妊、機能的な不妊又は一般不妊治療が無効であるものに限る。)	産科婦人科	31,100円

VI 特掲診療料の施設基準(手術)に係る院内掲示

当院では、下記のとおりの手術症例数があります。(算出期間:2025年1月1日~12月31日)

区分	手術名	件数
1	頭蓋内腫瘍摘出術等	195
	黄斑下手術等	667
	鼓室形成手術等	82
	肺悪性腫瘍手術等	195
2	経皮的カテーテル心筋焼灼術	269
	靱帯断裂形成手術等	32
	水頭症手術等	185
	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等	3
	尿道形成手術等	77
	角膜移植術	17
	肝切除術等	99
	子宮附属器悪性腫瘍手術等	48
	上顎骨形成術等	14
	上顎骨悪性腫瘍手術等	35
3	パセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術 (両葉)	2
	母指化手術等	13
	内反足手術等	0
4	食道切除再建術等	4
	同種死体腎移植術等	16
	胸腔鏡下・腹腔鏡下手術	825

区分	手術名	件数
その他	人工関節置換術及び人工股関節置換術 (手術支援装置を用いるもの)	180
	乳児外科施設基準対象手術(1歳未満)	0
	ペースメーカー移植術及び ペースメーカー交換術	109
	冠動脈、大動脈バイパス移植術及び 体外循環を要する手術	159
	経皮的冠動脈形成術	31
	(急性心筋梗塞に対するもの)	3
	(不安定狭心症に対するもの)	4
	(その他のもの)	24
	経皮的冠動脈粥腫切除術	0
	経皮的冠動脈ステント留置術	134
(急性心筋梗塞に対するもの)	19	
(不安定狭心症に対するもの)	15	
(その他のもの)	100	

VII 地域支援・医薬品供給対応体制加算に係る院内掲示

当院は、後発医薬品の使用に積極的に取り組んでいます。

VIII ハイリスク分娩管理

1年間の分娩件数	403件(2025年1月~12月)
専ら産科婦人科に従事する配置医師数	19人(2026年4月1日現在)※病院助手以上
配置助産師数	36人(2026年4月1日現在)※育児・産休共に除いた数